



シンポジウムのお知らせ

自然誌シンポジウム

「どうする？ 房総のシカと生物多様性保全」

日時：平成24(2012)年8月19日(日) 10:30～15:30

場所：千葉県立中央博物館 講堂

定員：当日受付200名 参加無料(小学3年生以上)

主催：千葉県立中央博物館・千葉県生物多様性センター

千葉県のニホンジカの現状はどうなっているのか？ そして、房総の自然に対するニホンジカの影響は？ 近年、全国的に問題になっているニホンジカによる植生、生物多様性への影響について、現状と課題を紹介するとともに、今後について考えてみたいと思います。

身近な房総の自然についての一般向けの話です。多くの方々のご参加をお待ちしております。

予定：

全体進行：原 正利(千葉県立中央博物館)

◆開会のあいさつ 10:30～10:35

上野純司(千葉県立中央博物館館長)

◆趣旨説明および千葉のシカの歴史の概要紹介 10:35～10:50

落合啓二(千葉県立中央博物館)

◆講演

・講演1：浅田正彦(千葉県生物多様性センター) 10:50～11:25

千葉のシカの保護管理の現状と課題

・講演2：鈴木 牧(東京大学大学院新領域創生科学研究科) 11:25～12:00

房総の自然に対するシカの影響

<お昼休憩(12:00～13:00)>

・講演3：大野啓一(千葉県立中央博物館) 13:00～13:35

植生学会が取りまとめた植生に対するシカの全国的な影響

・講演4：揚妻直樹(北海道大学和歌山研究林) 13:35～14:10

シカ个体群と環境の変遷から生態系保全を考える

◆パネルディスカッション 14:30～15:25

コーディネーター：花輪伸一(元 WWFジャパン)

パネリスト：浅田正彦、鈴木 牧、大野啓一、揚妻直樹

◆閉会のあいさつ 15:25～15:30

中村俊彦(千葉県生物多様性センター副技監・千葉県立中央博物館副館長)